

BRAIN
DESIGN
COPY
CM
WEB



特集・
現代のブランド
ストーリーのカタチ

青山デザイン会議・
岩崎夏海
須田和博
吉田大八

ブレン

12

DECEMBER 2012 VOL.629

2012年12月1日発行 毎月1日発行 平成24年4月24日 第三種郵便物認可 通番629号



RECRUIT NAVI

広告界とともに 宣伝会議グループ

クリエイターの転職は マスメディアン。 専門分野で実績No.1クラス

11月の転職フェア・キャリアアップセミナー【参加無料】

同じ業種・職種の採用であっても、企業によって重視する採用ポイントは異なります。企業ごとの特徴に合わせたアドバイスができるのも、約35,000人の転職支援実績から培った転職ノウハウと、宣伝会議のグループ力を駆使した人脈・情報・ネットワークがあればこそ。企業が選考で注目しているポイントや、過去にどんな人がプラス評価・採用されているかなど、マスメディアンならではの情報をお伝えします。

会場：東京・表参道

はじめての転職フェア

日時 **11/16** (金)、**17** (土)
10:00~21:00 10:00~16:30

参加無料/事前登録制/入退場自由/履歴書不要

●求人をお公開

(一般企業〈宣伝部・広報部〉/大手広告会社/外資系広告会社/クリエイティブエージェンシー/出版社/テレビ局/インターネット広告会社など)

●個別相談会を実施 (ご希望の方)

★ホームページよりお申し込みください。

- 11月21日(水) 19:30~21:00
大手広告会社で求められる人材・スキルとは?
- 11月27日(火) 19:00~21:00
＜未経験者対象＞広告界転職ガイダンス
- 11月15日(木) 19:30~21:00
広告界の転職に効く!
職務経歴書・作品集の作り方セミナー
- 11月6日(火) 19:30~21:00
＜未経験者対象＞広告界転職ガイダンス
- 11月20日(火) 19:30~21:00
広告界の転職に効く!
職務経歴書・作品集の作り方セミナー

東京・表参道
大阪・堂島
福岡・天神

11月の注目求人

毎日、新着求人更新中。
掲載求人は10月末時点のものです。



化粧品メーカー
グラフィックデザイナー
コピーライター



アパレルブランド
グラフィックデザイナー



インテリアショップ
グラフィックデザイナー
Webデザイナー



広告会社
グラフィックデザイナー
コピーライター

求人詳細・セミナー・個別相談会 お申し込み・お問い合わせは

03-5464-5611

webmaster@massmedian.co.jp

www.massmedian.co.jp

マスメディアン 検索

※マスメディアンの転職支援サービスはすべて無料です。

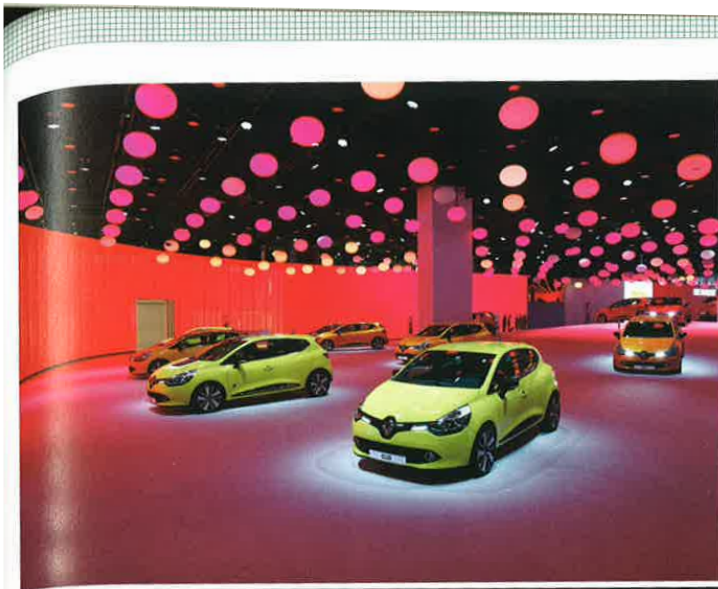
広告・Web・マスコミ専門の転職支援

MASSMEDIAN

株式会社 マスメディアン

〒107-0062 東京都港区南青山5-2-1 NBFアライアンスビル2階
【拠点】東京・大阪・名古屋・福岡

厚生労働大臣許可 登録番号 13-0-040175 人材派遣業 13-040596



DESIGN PROJECT

デザイン プロジェクトの 現在

文・川島蓉子

＊
モーターショーで
異彩を放った心地良い空間



ルノー in パリモーターショー
2012

9月29日から10月14日まで、パリでモーターショーが開催された。地元のトップメーカーであるルノーの空間デザインを手がけたのは、日本人建築家の田根剛さん。近未来における自動車のあり方を示唆するユニークな展示で話題を集めた。

変化をドライブしていくこと = Drive the change

開催されたのは、パリの中心部から地下鉄で20分ほどの距離にある「Paris Expo」。9つに分かれた大ホールをつなぎ、約9万6000平方メートルの空間を使った展示が行われた。「未来、いま」をスローガンにした今回のショーは、来場者が100万人を優に超える。プジョーの工場閉鎖に伴うデモ隊が入り口付近に陣取っていたものの、不況の影をほとんど感じさせない賑わいだった。

並み居るブランドの中で、4000平方メートルの広さを使い、発信力のある見せ方をしていたのがルノーだ。展示空間をデザイ

01



02



03



04

ンしたのは、イタリア、レバノン、日本という国籍の異なるメンバー3人が率いる建築家集団DGT (DORELL.GHOTMEH.TANE/ARCHITECTS)。田根さんはメンバーの一人であり、2011年のミラノサローネにおける東芝の展示空間や、小澤征爾さんが率いるサイトウ・キネン・フェスティバルのオペラ舞台のデザインなどを手がけ、注目を集めている。「建築の豊かさとは環境形成によって決定される」という考えのもと、“その場の記憶や歴史”を徹底的に読み込んだ上で、そこにしかない建築を作ることを目指してきた。

モーターショーは丸3年かけて20都市40箇所を巡回するという大掛かりなもの。それだけに、空間デザインを手がけるクリエイターを決めるまで、一年以上をかけたコンペティションが行われた。最初にルノーから声がかかったのは2010年だった。まずは、人の“移動”についての歴史を紐解いていくことから、プレゼンの準備はスタートした。ギリシャ時代にタイヤというツールが発明されて移動距離が飛躍的に伸びたこと、産業革命で国を越えた移動が加速度的に広がったことなど、“移動”にまつわる“記憶や歴史”の分析を重ね、21世

紀の自動車のあり方を探った。

生み出したコンセプトは、“変化をドライブしていくこと = Drive the change”。従来のモーターショーにおけるクルマの見せ方とは、まったく異なる提案をしようと考えた。「これまでのモーターショーは、クルマに照明をきれいに当てることで、宝石のように仰々しく見せていた。まるで美しい駐車場みたいで、本来、屋外にあるクルマが、完全な屋内環境に並べてあることにも違和感があった」——こういった疑問を打破しようとした。

言うまでもないことだが、昨今、クルマに求められるものは、早く移動するための道具に留まらず、人や環境と快適で良好なかかわりを築くことであり、そのために必要なことは何なのか模索されている。そこに踏み込んだ見せ方をしようと考えたのだ。

訪れた人たちの記憶にどう残るか

見事、コンペティションを勝ち抜き、ルノーのチームとともに作ったスローガンが「THE BUMP」。立ち止まって何かに気づいてもらう場として「クルマと人が集まってくる空間」を作ることにした。

ゆるやかな起伏のある2つの山を備えた大空間に、40台ほどのクルマを配した。一つの山には2人乗りの「Twizy (トゥイジー)」など電気自動車の商品群、もう一つの山にはベストセラーとなっている



05



06

01,06 パリモーターショーでのルノーの展示。約4000平方メートルの広さの会場にゆるやかな起伏をつくり、40台ほどのクルマを配した。天井からつり下げられたバルーン状の照明は、自然光が移り変わるように、時間と共に色と高さが変化する。

02 ルノー関係者や商談のために用意された建物の内部のレストラン。2階はバーになっている。

03 同建物内の廊下には、黄色い扉が並び、展示全体を通じて色が効果的に使われている。

04 カスタマイズのためのパーツを賣うことができるフティック。

05 パリモーターショー2012の会場となった、パリ郊外の「Paris Expo」。9つの大ホールをつなぎ、約9万6000平方メートルの広大な空間が使われた。

photo: 新村卓之

「Clio (クリオ)」の新型など、電気自動車以外の商品群と区分けした。斜面に置かれたクルマには、速さを競うスピード感はないが、快適に走りそうなイメージが宿っている。

山と山の間には、石ころのような球体のベンチをたくさん並べ、訪れた人が自由に座ってクルマを眺められるようにした。天井にはバルーン状の照明が整然と下がっていて、自然光が移り変わるように、時間と共に色と高さが変化する仕組み。「空間の快適性を優先し、什器や家具も含めてエッジのない場にして、照明はすべて間接にこだわった」。季節や一日の中での時間の推移に対応した光を設計した。背景となる壁面には、自然や人を彩る映像が流れている。そもそも床が曲面を描いて起伏しているような展示が他にない。エッジの効いた直線使用で、段差を駆使してクルマを目立たせることにしのぎを削っているところが大半を占める。クルマに求めるものがこれだけ変わろうとする中において、見せ方そのも

のが旧態依然としていることに首を傾げなくなった。近未来へ向けた提案がいまひとつ見えてこない——ルノーが展開した空間は、良い意味で異彩を放っていた。

ブースを訪れた人たちは、山を登りながら立ち止まってクルマを眺める。仰ぎ見て憧れるクルマというより、そばにいて親しみが持てる存在であり、屋外という場で人やモノの移動を助けてくれる相棒のような役割を果たす——そんな感覚を味わわせてくれると言ったら言い過ぎだろうか。

場に身を置くと、何となく長居したくなる。「訪れた人たちの記憶にどう残るのかを考えた」と田根さんが言うように、白い野原に点在するクルマとともに過ごした時間は、訪れた人の記憶の一部を形作るに違いない。これから世界を巡っていく中で、どんな反応が起きてくるのか期待される。

かわしま・ようこ

1961年新潟市生まれ。早稲田大学商学部卒業、文化服装学院修了。共立女子大学、多摩美術大学非常勤講師、Gマーク審査委員。著書に「伊勢丹な日々」(日本経済新聞社)、「ブランドはNIPPON」(文藝春秋)などがある。